

林業普及センター研修「オーストリア講座」実施要領

1 目的

本県では、今まで搬出間伐を推進してきたところであり、森林経営計画の策定やそれに伴う施業集約化の推進、作業路網の拡充、伐出作業における機械化、木材流通分野での知見の蓄積などが進んできた。一方で、作業における安全性の確保や作業効率の向上など改善すべき課題もある。

さらに今後は、主伐・再造林にも取り組んでいく必要があるものの、植栽後の獣害被害や長期にわたる育林経費などの諸課題が森林所有者の再造林への意欲低下を招いている。

このため本県では、先行して主伐・再造林に取り組む県外各地の取り組みに関する情報収集をあたっているところである。また、海外では持続可能な林業経営に取り組む国々もあり、そのしくみについて学び、取り入れていくことは有益であると考えます。

このような中、本県では、今後の様々な形での交流による相互理解と関係強化、SDG'sの達成に向けた取組の加速を目的として、令和5年11月にオーストリア共和国ブルゲンラント州との間に交流と協力に関する覚書を交わしたところである。

オーストリアでは農地から林地への転換が進むなど林業への評価が高く、日本とは異なる制度や価値観のもとで効率的な林業経営を行うなど学ぶべき点は多いと認識をする一方で、本県におけるオーストリアに関する知見は林業も含めて乏しい状況にある。

これから取り組む主伐・再造林は、今後約50年間にわたる滋賀の林業の基礎となるため従来とは異なる大胆な発想が必要であることから、その1つとして、オーストリアとの交流の一環として、オーストリアにおける先進的な林業について学ぶ機会を設けることとする。

また、このようなことから、オーストリアの森林・林業のみならず文化や人々の考え方、暮らしのなかでの森林・林業との関わりなど幅広く学べるよう4回連続の研修会として、林業普及センター研修「オーストリア講座」を開催する。

なお、当講座は滋賀もりづくりアカデミーとの共催研修として実施する。

2 講座内容（年間4回）

- ・第1回 オーストリアについて知る
- ・第2回 オーストリアにおける森林・林業の歴史
- ・第3回 オーストリアにおける森林・林業の現状とこれからの展望
- ・第4回 オーストリアの暮らしと森林・林業の関わり

3 講師

- ・第1回、第4回 オーストリア大使館商務部 上席商務官
- ・第2回、第3回 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所研究員

4 実施時期（日時）・場所

- ・第1回 8月29日（県庁東館大会議室） 13時30分～15時30分
- ・第2回 10月30日（県庁東館大会議室） 13時30分～15時30分
- ・第3回 12月中旬（未定） 13時30分～15時30分
- ・第4回 1月中旬（未定） 13時30分～15時30分

5 対象者

- ・県内林業関係者
- ・県外林業関係者

6 各回の研修計画

(1) 第1回 「オーストリアについて知る」

○目的 オーストリアについては未知であるため、オーストリアの地勢をはじめ木を使う文化や国民性、森林・林業産業の状況、森林文化など全般的な事柄を学ぶ。

○日時 令和6年8月29日(木)

13:30~13:40 趣旨説明、講師紹介

13:40~15:00 講演

15:00~15:30 質疑応答

○場所 県庁東館大会議室

○講師 オーストリア大使館商務部 上席商務官 ルイジ・フィノキアーロ氏

○参加者 100名程度

(2) 第2回 「オーストリアにおける森林・林業の歴史」(仮題)

○目的 森林施業と多面的機能の発揮との両立を図るため、オーストリアでの今までの取り組みについて林政史や人々の暮らしとの関わりなどを通じて学ぶ。

○日時 令和6年10月30日(水)

○場所 県庁東館大会議室

○講師 森林総合研究所東北支所 久保山裕史氏

○参加者 100名程度

(3) 第3回 「オーストリアにおける森林・林業の現状とこれからの展望」(仮題)

○目的 これから「新しい林業」を推進するにあたり、安全かつ効率的に施業を行うオーストリア林業の現状と課題およびこれからの森林・林業の展望について学ぶ。

○日時 令和6年12月中旬

○場所 (未定)

○講師 森林総合研究所東北支所 久保山裕史氏

○参加者 100名程度

(4) 第4回 「オーストリアの暮らしと森林・林業の関わり」(仮題)

○目的 本県と友好締結を結んだブルゲンラント州について知るとともに、川中・川下の人々と森林・林業・木材産業との関わり方や森づくりの取り組みなど森林・林業との具体的な関わり方・参画状況などについて学ぶ。

○日時 令和7年1月中旬

○場所 (未定)

○講師 オーストリア大使館商務部 上席商務官 ルイジ・フィノキアーロ氏

○参加者 100名程度

※注：第2回以降の講座内容は、今後の講師との打合せにより変更の場合がある。